

○自主防災組織育成費補助金対象品目一覧

	主な活動対象	要綱品目	備考
防災備蓄倉庫（補助率：3／4）		防災備蓄倉庫 (二次製品等、耐火性に優れた物)	必ず名入れをする。 (参考例) ○○自治会 防災備蓄倉庫 ※倉庫は開発許可や建築確認等、事前確認が必要になるため担当課と協議してから申請すること。 ※基礎、室内の電気（蛍光灯、コンセント等）、換気扇、名入れ、塗装、収納棚、鍵、運搬費、各種工事費等、倉庫の設置に伴う適切な費用については補助対象とする。但し、倉庫の設置面積を大きく超える土地の整備費や電気を配線するための引込柱等の設置費は補助対象外とする。既に設置済みの倉庫を他の場所に移設する場合の費用や修繕費等も補助対象外とする。
		建築確認等、手続き費用	補助上限額30万円とする。
初期消火用資器材	初期消火用資器材	消火器 バケツ	収納箱、リサイクルシールも含む、中身の入れ替えは対象外
	避難誘導用資器材	ヘルメット 腕章 誘導旗 防災ベスト 反射タスキ 帽子 ラジオ トランジスタメガホン 長靴 雨具 誘導灯（棒） 車椅子 トランシーバー ヘッドライト 強力ライト	必ず名入れをする。名入れの基準については下記の通り。 <名入れ基準> ①「○○自治会防災部」等、自主防災組織名を入れる。 ②「○○自治会」等、組織名に「防災」という文字が入っていない場合は、極力「防災」という文字も入れる。 ③「防犯」という文字は原則入れてはならない。当補助事業は防犯活動に対する補助事業ではないため。但し、「○○自治会防災・防犯部」等、自主防災組織名に「防犯」が入っている場合はその限りでない。
		スコップ（シャベル） 運搬車 救命ボート 救命胴衣 土のう袋	電池式のものについては電池は補助対象外。但し、セットとして含まれており、分離できない場合は補助対象とする。
		救助・救出用具セット	セットに含まれる用具の類は単品の購入でも補助対象とする。セットは、中身の単品ごとに備蓄資器材、防災資器材を判断する。 (例)ハンマー、番線カッター、ノコギリ、ジャッキ、ナタ、カナテコ、カッターナイフ、ドライバー、モンキーレンチ、掛矢、チェンソー、エンジンカッター、万能斧、鳶口等、救助・救出活動の際に活用できるもの。
		ブルーシート（防水シート） 排水ポンプ 防塵メガネ 防塵マスク ウインチ（チルホール） 脚立、梯子 作業用手袋 ロープ	
		担架、ストレッチャー 救急セット おんぶ布 三角巾 災害用ウェットティッシュ（タオル）	リヤカー、一輪車、台車等物資を運搬できるもの。 整備後の期限切れによる買い替えも補助対象とする。
	救助用資器材	テント 投光器 組立式トイレ、簡易トイレ ガソリン携行缶 プランケット（アルミプランケット） シーツ 発電機 コードリール 浄水機	セットに含まれる用具の類は単品の購入でも補助対象とする。セットは、中身の単品ごとに備蓄資器材、防災資器材を判断する。 トイレ本体がセットの物に限る。自宅のトイレに取り付けて使用する袋と消耗品のみのセットは対象外とする。
		エレベーター用防災キャビネット 蓄電池 間仕切り ランタン	初期費用のみ対象とする。整備後の期限切れによる買い替えは対象外。 ポータブル電源が対象。携帯・スマホ用のモバイルバッテリー、施設に取り付ける大型の蓄電池は対象外とする。平常時から利用するものとし、倉庫での保管は厳禁。なお、蓄電池対応のソーラーパネルは、セットで買う場合のみ対象とする。
		かまどセット 水運搬袋 飲料水タンク（ポリタンク） 食品加熱パック 炊出し用調理用具 炊出し用食器セット 真空パック毛布 カセットこんろ	鍋や釜、蓋、炉等をセットとする。原則薪・ガス・灯油等の燃料は補助対象外。但し、分離できない場合はセットとする。 同類の給水袋も含む。但し、飲料水タンク（ポリタンク）はその他の防災資器材とする。
		非常用食料 保存水	備蓄資器材に含まれるカマドセット以外のもので、炊出しに必要な調理用具等とする。
備蓄資器材（補助率：3／4）			
避難生活用資器材①			保存期限3年以上のものとする。
食料・保存水（補助率：1／4）	避難生活用資器材②		

※赤文字は新規

<その他の注意事項>

※ガソリン、ガスボンベ、電池、固体燃料等の各種燃料は補助対象外とする。但し、燃料がセットとして含まれており、分離できない場合は補助対象とする。
※トランジスタメガホンとマイクのセット等については、本体とマイクを同時に購入する場合はマイクも対象とするが、後日、マイクのみを購入する場合は対象外とする。
※使用用途が上記の資器材に該当すれば、補助対象とする。